

招 集 期 日	平成 3 0 年 2 月 2 0 日 (火)		会議の場所	教育委員室
会議の時刻	開会の時刻	午後 1 時 0 0 分	開 会 者	教 育 長
及び宣告者	閉会の時刻	午後 2 時 2 0 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	高 瀬 賢 一 委 員	出 席	
春山教子教育長職務代理者	出 席	平 野 博 之 委 員	出 席	
柿 沼 拓 弥 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説 明 の た め の 出 席 者	佐藤学校教育部長	赤坂生涯学習部長	橋本教育総務課長	細村学校教育課長
	小島学校給食センター所長	岡田生涯学習課長	山木スポーツ振興課長	
書 記 名	教育総務課総務係 横山			
会議事件名	て ん 末			
開 会	教育長	2 月 定 例 教 育 委 員 会 を 開 会 教育委員会の会議は公開が原則であるが、人事に関する事件等について出席委員の 3 分の 2 以上の多数で議決した時は公開としないことができる。本日の日程の中で議案第 1 号及び第 2 号は教育費予算に関する議会の議決を経るべき議案であるため、非公開としてよろしいか。 異議なしの声あり 議案第 1 号及び第 2 号は、非公開とする。		
日 程 第 1 前 回 会 議 録 の 承 認	教育長	1 月 定 例 教 育 委 員 会 の 会 議 録 の 承 認 に つ い て 諮 っ た。 異議なしの声あり		
	教育長	前 回 会 議 録 は 、 承 認 さ れ た 旨 宣 し た。		
	教育長	報 告 事 項 1 に つ い て 、 学 校 教 育 課 長 か ら 説 明 を 求 め た。		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第 2 報告事項 1 平成 29 年度第 2 回 生徒指導に関する調 査結果について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>調査期間は、平成 29 年 4 月 1 日から 12 月 31 日までである。小学校においては、暴力行為が 1 件であった。いじめの認知件数等は前年度の 12 件から 9 件に減ったが、これを単に喜ばず、先日行われた生徒指導委員会にて、軽微なものも報告するという埼玉県の方針を伝え、どの学校でもいじめが有りうるという認識のもと、早期発見・早期解消に努めるよう指導した。不登校は 11 人であった。中学校においては、暴力行為は 1 件、いじめの認知件数等は 5 件であった。不登校は前年度の 26 人から 40 人に増えた。このことを大きな課題と捉え、引き続き不登校解消に向けて取り組みたい。</p>
<p>報告事項 2 給食センター職員に よる学校訪問の結果 について</p>	<p>給食センター所長</p>	<p>平成 29 年 10 月 13 日から平成 30 年 1 月 26 日までの期間で、全小中学校を訪問した。栄養教諭と調理員により、小学校では、給食がどのように作られているか、中学校では、給食の歴史について、実物の調理器具や写真を使って説明した。児童生徒に日本の給食が安全で安心できる給食であること、給食を作るためにたくさんの方が関わっていることを知り、給食を食べられることへの感謝の気持ちを持ってもらえるよう指導した。</p>
<p>報告事項 3 平成 29 年度羽生市 P T A 連合会家庭教育研修会 の結果について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>報告事項 3、4 について、生涯学習課長から説明を求めた。</p> <p>1 月 27 日にワークヒルズ羽生にて羽生市 P T A 連合会主催のもと開催した。参加対象は市内各単位 P T A の会員で、参加者数は教職員を含め 128 名であった。内容については、講師に共栄大学教育学部教授の濱本一氏を迎え、「家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、世間の教えで実が成る」というテーマで講演会を</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項4 高校生インストラクター講座「JKショコラ食べたくない?～バレンタインデーの前に!!～」の結果について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>行った。長く教育現場に身を置き、二児の父親でもある講師の豊富な実体験に基づくユーモアを交えた講演であった。PTA 会員である親同士の交流の場、学びの場として家庭教育における教育力の向上に繋がることを期待し、今後も継続して開催したい。</p> <p>2月3日に羽生第一高等学校の調理室にて開催した。参加対象者は小学生と保護者とし、当日は13組の参加があった。家庭部の部員8名を講師として、フォンダンショコラケーキを作った。アンケートを実施した結果、参加者の満足度は非常に高く、また、講師となった高校生達は、地域と関わる貴重な体験に満足感や達成感を感じたようであった。今後も、参加者のニーズと高校生のスキルを上手く結び合わせ、飽きられることのないよう講座内容を変えながら開催していきたい。</p>
<p>報告事項5 平成29年度ニュースポーツ出前教室の結果について</p>	<p>スポーツ振興課長</p>	<p>報告事項5、6について、スポーツ振興課長から説明を求めた。</p> <p>スポーツ推進委員が各地区に出向き、ニュースポーツの指導等を行う教室である。今年度は、「ムジナもん体操」及び「パスラグビー」の体験を行ったほか、健康づくり推進課の協力により、羽生市健康チャレンジ事業の一環として睡眠や食生活等、健康に関する講話を行った。平成29年11月3日から12月17日までの期間で、市民プラザや小学校の体育館を会場に9地区で計10回実施し、延べ516人の参加があった。「パスラグビー」は、衝突が激しくルールが複雑であるラグビーを簡単にして、誰もが気軽にできるニュースポーツとしてスポーツ推進委員会が考案した。「パスラグビー」の体験は今回で2回目となる。今後も、スポーツを行うきっかけ作りとして、出前教室の実施に取り組んでいきたい。</p>
<p>報告事項6 第13回羽生市フロアカーリング大会の結果について</p>	<p>スポーツ振興課長</p>	<p>1月14日に、羽生市体育館にて開催した。市内在住・在勤・在学者を対象に96チーム361人が参加した。6チームごとに総当たりの予選リーグを行い、その後予選リーグの順位ごとにトーナメ</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項7 リサイクルフェア実施結果について</p> <p>報告事項8 平成29年度蔵書点検結果について</p>	教育長	<p>ント方式の決勝戦を行った。6歳から92歳まで、幅広い年齢層の参加があり、和やかな雰囲気の中でも、競技においては熱い戦いが繰り広げられ、大会は大変盛り上がった。</p> <p>報告事項7、8について生涯学習部長から説明を求めた。</p>
	生涯学習部長	<p>1月11日から1月14日までの4日間、郷土資料館の展示室にて開催した。羽生市立図書館で不用となった図書・雑誌及び市民からお預かりしたリサイクル用図書を無償提供したところ、公共施設8施設、市民440人の利用があった。提供冊数は6,233冊、うち3,619冊をリサイクルすることができた。</p>
	生涯学習部長	<p>1月4日から1月26日までの期間で実施し、うち1月22日から1月26日までの5日間は、全館休館して点検を実施した。実施結果については、収蔵管理エラーが285件あったが、そのうち、登録した場所に本が置かれていなかったもの122件を補正し、不明資料は163冊であった。また、平成26年度から3年が経過する不明資料87冊については、除籍基準に基づいて除籍処理を行う。所蔵資料は市民の財産であるため、館内の巡回を強化する等、適切に蔵書を管理していきたい。</p>
	教育長	<p>報告事項に関して質問・意見を求めた。</p>
	春山委員	<p>生徒指導に関する調査結果について、暴力行為と、いじめの認知件数等に、関連性はあるか。また、不登校の児童生徒数が増えていることについて、どのような対策を考えているか。</p>
学校教育課長	<p>暴力行為といじめの関連性については、児童生徒の名前の報告までは求めていないため、同じ児童生徒かどうかは判らないというのが現状である。不登校の増加については、まず、原因の分析</p>	

会議事件名	て ん 末	
		<p>が必要であり、家庭環境、学力・授業についていけない、友人関係、教師との関係、本人の気持ちの5つのどれかに該当するのではないかとと思われる。対策は、休みがちになったら、すぐに電話や家庭訪問により連絡を取り、それを継続する事、家庭環境の把握は、スクールソーシャルワーカーとの連携により進めていくと良いのではないかと考えている。</p>
	春山委員	<p>対策については、状況によるが、地域や家庭とも連携ができると良いのではないかと思う。不登校の理由に「本人の気持ち」とあったが、これについては対応が最も難しいと感じる。</p>
	高瀬委員	<p>不登校について、中学校では女子の人数が多いことに驚いた。学校教育課長から原因については5つ挙げられたが、実際、不登校になってしまっている生徒は、怠学型や非行型等、どのような傾向であるか。</p>
	学校教育部長	<p>中学校からは詳細な報告は受けていないが、怠学型が多いという情報は伝わってきている。ただし、その中には発達障がいを持っていて、友人等とコミュニケーションがうまくとれず、辛くなって不登校になるという生徒も多いようである。中学校では、不登校の生徒への対応の場として「さわやか相談室」があるが、相談室内でも遊んでしまったり、大騒ぎしたりするようなことがあるので、相談室での過ごし方を正すよう指導すると、学校に来なくなってしまうというような例も多いとのことである。</p>
	春山委員	<p>怠学の傾向が多いとのことであるが、やはり家庭の環境が大きく影響しているのではないか。近年、家庭教育が大事だと言われているが、そこに地域が手を差し伸べることができないものかと思う。地域が不登校に関わるということは、プライバシーの問題等があり、なかなか難しいのかもしれないが、それを見過ごしてこのまま不登校が続いていくと、将来的に社会から隔離されてしまう可能性があると思うため、何とか手立てを考えていければと思う。例えば、経済的にゆとりがなく、保護者も教育に関心がなくなり、子どもが不登校に陥ってしまうという状況があっても、特別な支援として、学校でも適応指導教室でもない、「居場所」を作ってあげられるように、地域で協力ができたら良いと思う。</p>

会議事件名	て ん 末	
	平野委員	<p>発達障がい等については、児童生徒には分からないのだと思うが、学校の先生方には、様々な障がいについて、しっかりと認識・理解するための勉強の場というのは設けられているのか。</p>
	学校教育課長	<p>いちばん効果的な方法として、今年度は臨床心理士が各学校を巡回し、特定の子どもたちを観察することで、具体的な対応の手法をその学校に指導している。また、これまで養護教諭部会を中心に研修会を行っており、今年度は校長会でも研修会を実施した。</p>
	平野委員	<p>管理職や養護教諭が知識を持っているのはもちろんだが、直接児童生徒に関わる先生が理解して実践することが大切だと思うが、一般の先生には伝えることができているか。</p>
	学校教育課長	<p>養護教諭部会の研修内容を学校に持ち帰り、校内に広めるための研修の機会も設けているため、各教職員には伝わっている。</p>
	学校教育部長	<p>その他、各学校において、例えば埼玉純真短期大学等から、専門の先生を招いたり、羽生市で雇っている臨床心理士による研修も行っている。10年前と比べると教職員一人ひとりの認識・理解は深まっていると思う。さらに、臨床心理士が観察することにより、アドバイスを得て、その子どもに合わせた対応をしている。</p>
	教育長	<p>様々な障がいを持つ児童生徒が、年々認知されている状況がある。羽生市教育委員会としても、スクールソーシャルワーカーや臨床心理士の力を借りて、より理解を深められるよう取組んでいきたい。</p>
	高瀬委員	<p>「パスラグビー」の普及については、どのくらいの期間推進していく予定か。</p>
	スポーツ振興課長	<p>2019年にワールドカップが日本で開催されることに伴い、埼玉県もラグビーの普及活動に努めている。それに合わせて羽生市スポーツ推進委員会としても、ニュースポーツの一つとして進めて、広めていきたいという思いがある。ルール等はある程度確立できたが、まだ試行錯誤をして進めている部分がある。出前教室のみならず、各地区で愛好会等ができ、いずれは羽生市の大会を開催</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 協議事項1 平成30年度羽生市教育委員会グランドデザイン及び教育行政重点施策（案）について</p>	柿沼委員	<p>することを最終的な目標に置いてはいるが、今後の進め方等については、スポーツ推進委員と相談し、共に拡大、普及に努めていきたい。</p> <p>P T A連合会家庭教育研修会について、講演の内容も素晴らしいものであった。今後は、家庭教育のあり方について一歩踏み込み、教育委員会としてP T A連合会に何を求めていくか、具体的にどんなことをすればよいか、という提案ができれば、お互いのより良い協力体制ができるのではないかと思う。</p>
	教育長	<p>家庭教育について、今後羽生市がどのように進めて行きたいかを見える形にする必要がある。P T A連合会にどのように協力を仰ぐか検討を重ね、更に良い研修会を運営していきたい。</p>
	教育長	<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>協議事項1について教育総務課長から説明を求めた。</p>
	教育総務課長	<p>羽生市教育委員会グランドデザインについては、昨年度から要点がひと目で判るようリニューアルしており、ほぼ変更は無い。各部のグランドデザインは、羽生市教育振興基本計画の構成に基づき、平成30年度に実施する事業のうち新規、重点事業を示している。学校教育部の新規事業は、埼玉県教育委員会・東部教育事務所・埼玉大学教育学部附属中学校との連携による学力向上、小中学校校舎等の大規模改修工事等、就学援助費の入学前支給、小学校全校によるコミュニティ・スクール、学校給食センターの設備の更新工事等である。生涯学習部の新規事業は、郷土資料館での企画展の開催、伝堀越館跡の植生マップ作成及び館跡の整備、文化芸術推進基本計画策定に向けた研究、市体育館の施設整備に係る工事及び実施設計、バドミントン教室の開催等である。羽生</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>市学力向上グランドデザイン及び羽生市教育委員会学力向上重点7については、学校教育部グランドデザインに合わせて改定している。教育行政重点施策は、平成30年度に実施する新規・重点事業を詳細に記したものである。グランドデザイン及び重点施策の基となる羽生市教育振興基本計画の期間は、平成26年から平成30年の5ヶ年となっており、平成30年度においては、羽生市の教育に関する施策の大綱と共に見直しを図り、次期計画を策定する予定である。なお、グランドデザイン等は、本会議での協議により承認を得た後で総合教育会議において市長への報告等を行い、各学校に配付する予定である。</p> <p>教育長 協議事項1について質問・意見を求めた。</p> <p>春山委員 羽生市教育振興基本計画の期間が平成26年から平成30年度までで、グランドデザイン等はこれに基づくため、平成30年度に全く新しい項目を加える事は難しいと思うが、先程、柿沼委員から発言のあった、PTA連合会との連携に関しては、同感である。その取組を進めようとした時に、グランドデザインに表示できると良いと思うが、どこに位置付けたら良いかが大変難しい。生活習慣の事、スマートフォンの利用の問題等、PTAと連携しながら各家庭に働きかけることが重要になってきていると考えている。平成31年度からとなってもやむを得ないが、是非、PTAとの連携ということを施策に取り入れていただきたい。</p> <p>柿沼委員 先日の教育委員行政視察で秋田県を訪問した際、塾に行っていないけれども学力が高い、家庭の収入が高なくても学力が高い理由は、家庭でよく復習しているからであるとの話を伺った。PTAとの連携により、家庭で具体的に何をやっていくか、どのようなことができるかを話し合っ、「チーム羽生」として取組まないといけない気がする。連携を形で示せば良いと思うが、学力向上グランドデザインのアプローチ3の「地域の教育力の活用」の一番下に表示するというのはいかがでしょうか。</p>

会議事件名	て ん 末	
	教育長	<p>3. 学校・家庭・地域の三者協働による学校づくりの中に「小学校全校によるコミュニティ・スクール」があるが、コミュニティ・スクールにおいて地域とPTAと連携して具体的な策を講じることが我々の狙いでもある。柿沼委員の意見のように、羽生市学力向上グランドデザインのアプローチ3で【家庭・地域】としてより具体的に書かれているところに、具体策のひとつとして「PTAとの連携」として加えることも考えられる。これまでは羽生市版の「コミュニティスクール」だったものを、「コミュニティ・スクール」に改めた。表記は僅かに違うだけだが、内容は国が進めている学校運営協議会による学校運営を行うものであり、協議会の委員がより積極的に学校運営に参画することとなる。</p>
	学校教育部長	<p>コミュニティ・スクールには、PTAも含まれる。学校・家庭・地域の三者協働についても、PTAの要素が含まれる。特にPTAとの連携を活かして家庭教育や家庭学習、生活習慣等について市をあげて向上させていきたいということになれば、新規の項目として「PTA連合会との連携」を掲げることも一つの手法であると考えている。</p>
	春山委員	<p>PTA連合会は、生涯学習部の所管になる。学校教育部、生涯学習部の両方に関わる大事な事となる。各単位PTAだけではなく、PTA連合会として連携する必要があり、生涯学習部での取組に加えることにもなると思う。</p>
	教育長	<p>羽生市教育委員会グランドデザインは平成29年度にリニューアルした。平成30年度はそれをしっかり実行する年度だと認識している。それを踏まえて平成31年度から教育振興基本計画を新たな形で策定するため、平成30年度は学校教育部、生涯学習部共にPTA連合会との連携を視野に入れながら各事業に取り組み、見直し後の教育振興基本計画に基づく各グランドデザインに新たな施策として盛り込んでいくという事でもよろしいか。</p>
	春山委員	<p>それでも良いと思う。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>協議事項2 平成29年度小・中学校卒業式教育委員会告辞（案）について</p>	教育長	平成 30 年度における P T A との連携を評価することを各部の共通認識として持ち、その反省に基づいて平成 31 年度から新たに 5 ヶ年の計画を進めていきたい。
	春山委員	学力向上に関して、今年度初めて実施した羽生市学力アップテストの結果については、どうだったか。
	学校教育課長	1 月中に学校よりテストの結果が報告されているので、来月の定例教育委員会にて報告したい。
	教育長	各学校の実施結果を受け、学力向上の担当者が集って具体的にどのような対応策を講じるかを協議した上で、個々に応じた問題を提供していくことになっている。
	教育長	協議事項 1 については、よろしいか。 異議なしの声あり
	教育長	協議事項 1 については、承認された旨宣した。
	教育長	協議事項 2 について学校教育課長から説明を求めた。
	学校教育課長	<p>全国プレゼンテーションコンクール in 羽生のテーマでもある、夢を持ち努力を続ける力、自分の考えをしっかりと伝えるプレゼンテーションの力、ICT を活用する力を身に付けて欲しいという、教育委員会からのメッセージとしたい。小学校では陸上の桐生祥秀選手、中学校では将棋の藤井聡太六段の活躍を取り上げて告辞案を作成した。</p> <p>小学校告辞案を読み上げた。</p> <p>中学校告辞案を読み上げた。</p>

会議事件名	て ん 末	
	教育長	協議事項 2 について質問・意見を求めた。
	柿沼委員	<p>中学校の告辞については、A I の良さの紹介が多く、A I が中心となっているように聞こえてしまう。また、プレゼンテーションコンクール in 羽生にも触れているが、卒業生は受験生だったため、共感できる部分が少ないのかも知れない。もし「夢」について強く伝えたいということであれば、藤井聡太六段の夢に絡めて作った方が良いのではないかと思う。</p>
	春山委員	<p>同じく中学校の告辞について、藤井聡太六段の強さの秘密として、夢を持ち努力する意志のあること、I C T を活用することの 2 つを挙げ、A I 等の I C T を活用しながら夢の実現に向けて頑張ってもらいたいということを言いたいのだと読み取った。しかし、その主旨を伝える文章を、もう少しすっきりと結論に導けるようにできると良いのではないかと思った。「自分の夢や目標をしっかりと定め」「A I に代表されるように、周りにある様々な物を有効活用しながら」「夢の実現に向けたプランをたて」「自ら努力し続けることができる強い意志をもった人間へと成長してほしい」という構成であるが、強い意志を持った人間へと成長してほしいことが主旨のように聞こえてしまう。</p>
	学校教育課長	<p>I C T を活用してやらなくてはいけない時代が来るということを伝えたい。夢の実現のために努力する、という事はこれまでもよく言われてきたが、A I 等を上手く使っていく、凄いいスピードで変化していく時代に適応することが必要というメッセージである。</p>
	春山委員	<p>小学校の告辞に関連して、今回の冬季オリンピックで活躍したスピードスケートの小平奈緒選手も、勝つためにはどうすべきか、コーチと話し合い、練習してきたとのことである。告辞の中で語られている、夢の実現のために納得いくまで話し合い、やり遂げるといふ部分と同じである。</p>
	教育長	<p>小学校では、歴史を変えた 9 秒台ということと、中学校では、</p>

会議事件名	て ん 末	
協議事項3 平成30年度羽生市教育委員会・羽生市教育研究会研究委嘱校一覧(案)について	教育長	<p>同じ年代の子ども達に今でしか訴えられないものを、ということで、作成していきたい。只今の意見を集約して修正し、次回の会議でもう一度諮らせていただいてよろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	協議事項3について学校教育課長から説明を求めた。
	学校教育課長	平成30年度は委嘱2年目となる手子林小学校、村君小学校、南中学校が研究発表会を行う。新たに2年間の研究委嘱をされるのが、新郷第二小学校、井泉小学校、東中学校である。緑化教育指定校は、新郷第一小学校である。
	教育長	<p>協議事項3について質問・意見を求めた。</p> <p>特になし</p>
	教育長	<p>協議事項3については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	協議事項3については、承認された旨宣した。
	教育長	議案第1号及び第2号については、会議を非公開とする。傍聴人はあるか。
	教育総務課長	傍聴人はない。
	教育長	議案第1号について教育総務課長から説明を求めた。

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第4 議案第1号 議会の議決を経るべき議案について（平成30年度教育費予算について）</p>	教育総務課長	<p>歳入については、教育総務課所管分が 59,300 千円の減、学校教育課が 28,739 千円の減、生涯学習課については、微増。スポーツ振興課についても微増となっている。</p> <p>歳出において、教育総務課所管分では 72,149 千円の減となるが、平成 30 年度に実際に執行される予算としては、議案第 2 で説明する補正予算が繰り越される。学校教育課では、904 千円の減、生涯学習課においては、1,212 千円の増、スポーツ振興課においては 425 千円の減、図書館・郷土資料館については 4,369 千円の増となっている。教育費全体では、昨年度よりも減額となっている。</p>
議案第2号 議会の議決を経るべき議案について（平成29年度教育費補正予算（第6号）について）	教育長	議案第1号について意見・質問を求めた。
	教育長	なし。
	教育長	議案第1号については、よろしいか。
	教育長	異議なしの声あり
	教育長	議案第1号については、可決された旨宣した。
	教育長	議案第2号について教育総務課長から説明を求めた。
	教育総務課長	<p>教育総務課所管の歳出予算、小学校施設建設事業、羽生北小学校屋内運動場改修工事請負費 51,840 千円である。平成 29 年度 3 月補正予算で計上し、全額を繰越明許費として、事業自体は 30 年度で実施する。当該事業に、国の補正予算による防災機能強化のための交付金の採択の可能性があるので、平成 29 年度の補正予算を組んで工事を実施する運びとなったものである。</p>

会議事件名	て ん 末	
議案第3号 羽生市学校給食センター 設置及び管理条例施行規 則の一部を改正する規則	教育長	議案第2号について意見・質問を求めた。 特になし
	教育長	議案第2号については、よろしいか。 異議なしの声あり
	教育長	議案第2号については、可決された旨宣した。
	教育長	これより、会議を公開とする。
	教育長	議案第3号について学校給食センター所長から説明を求めた。
	給食センター所長	改正の内容は、給食費を日割り計算とする対象者を補足し、併せて文言の整理をするものである。給食費の日割り計算の対象者については、これまで児童生徒において、一定の事由においてのみ認められていたが、非常勤職員等も含めることとした。
	教育長	議案第3号について意見・質問を求めた。 特になし
	教育長	議案第3号については、よろしいか。 異議なしの声あり
	教育長	議案第3号については、可決された旨宣した。
	教育長	議案第4号について生涯学習課長から説明を求めた。

会議事件名	て ん 末	
<p>議案第4号 羽生市有形文化財「木造大黒天立像 付 厨子（もくぞうだいこくてんりつぞう つけたりずし）」の指定について</p>	生涯学習課長	<p>本件は、平成 29 年 12 月 23 日付けで羽生市文化財保護審議委員会に羽生市有形文化財・彫刻の指定について諮問していたが、同委員会委員長より、指定に値するとの答申があったため、羽生市有形文化財として指定しようとするものである。</p>
	教育長	<p>議案第4号について意見・質問を求めた。</p> <p>特になし</p>
	教育長	<p>議案第4号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>議案第4号については、可決された旨宣した。</p>
	教育長	<p>次回教育委員会日程について事務局より説明の旨。</p>
	教育総務課長	<p>第1回臨時教育委員会を、平成30年2月27日 午後1時30分より教育委員室にて開催する。</p> <p>3月定例教育委員会を、平成30年3月26日 午後1時より教育委員室にて開催する。</p>
	教育長	<p>閉会を宣した。</p> <p>教育長 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>書 記 _____</p>